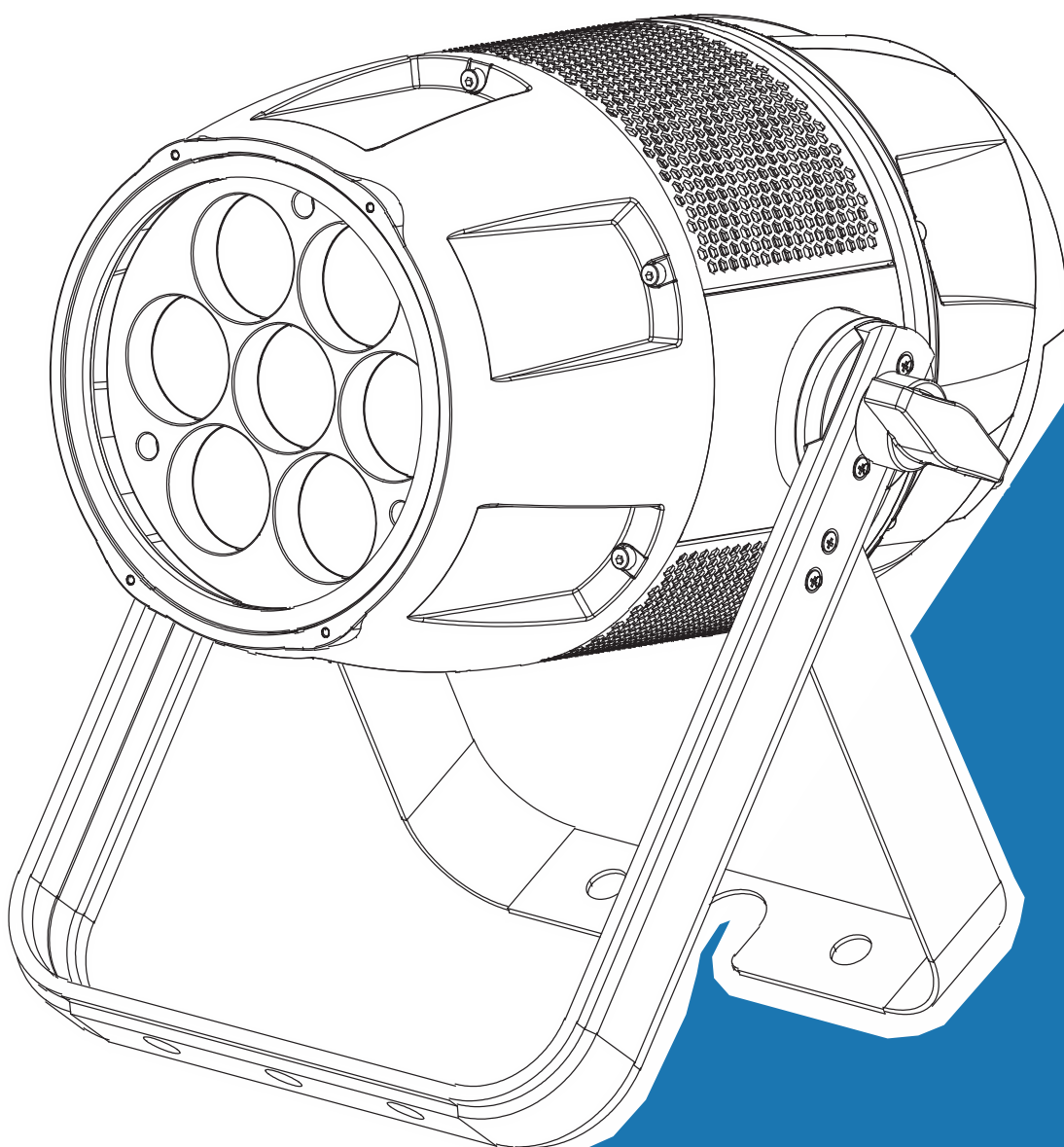




STAGE PAR 400 ZOOM IP



User Manual

Please read the instruction carefully before use

目次

01/ 安全上の注意	2
02/ 技術仕様	4
03/ 器具の設定方法	5
3.1 コントロールパネル	5
3.2 主な機能	6
04/ ユニットの制御方法	13
4.1 DMX512コントローラー	14
4.2 DMX512設定	14
4.3 DMX512接続	18
05/ トラブルシューティング	19
06/ 器具のクリーニング	19



取り付け、使用、メンテナンスに関する重要な情報が記載されているこの説明書をよくお読みください。

WARNING

この取扱説明書は、今後の参考のために保管してください。本製品を他のユーザーに販売する場合は、必ずこの取扱説明書もお渡しください。

重要：

本取扱説明書の記載内容に従わなかったことが原因で生じた損害は、保証の対象外となります。販売店は、結果として生じた欠陥や問題について一切の責任を負いません。

- ご使用前に開梱し、輸送中の損傷がないか注意深く確認してください。
- 本製品は屋内専用です。乾燥した場所でのみご使用ください。
- 設置および操作は、必ず資格のある作業員が行ってください。
- お子様に本製品を操作させないでください。
- 本体を固定する際は、安全チェーンを使用してください。本体を持ち運ぶ際は、本体のヘッド部分のみではなく、ベース部分を持ってください。
- 本体は、十分な換気のある場所に設置し、隣接する面から 50cm 以上離してください。
- 通気口が塞がれていないことを確認してください。塞がれていると、本体が過熱します。
- 操作前に、本書または製品の仕様ラベルに記載されている仕様に従って、本製品を適切な電圧に接続していることを確認してください。
- 感電を防ぐため、黄 / 緑の導体をアースに接地することが重要です。
- 最低周囲温度 TA：5℃。最高周囲温度 TA：40℃。本製品をこれより低い温度または高い温度で使用しないでください。
- 本装置を調光パックに接続しないでください。
- 火災の危険を避けるため、動作中は可燃物を器具から遠ざけてください。
- 電源コードが圧着または損傷していないことを確認してください。損傷している場合は直ちに交換してください。
- 装置の表面温度は 65℃に達する場合があります。動作中はハウジングに素手で触れないでください。
- 可燃性の液体、水、または金属が装置内に入らないようにしてください。発生した場合は、すぐに主電源を切ってください。

- 汚れた環境や埃っぽい環境では使用しないでください。器具は定期的に清掃してください。
- 感電の危険があるため、動作中は配線に触れないでください。
- 電源線を他のケーブルと撚り合わせないでください。
- 光出力部と照射面との間の最小距離は 0.5 メートル以上である必要があります。
- 重大な動作上の問題が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。
- 器具の電源を何度もオン／オフしないでください。
- ハウジング、レンズ、または紫外線フィルターに目に見える損傷がある場合は、交換してください。
- 内部にはユーザーが修理できる部品はありませんので、器具を開けないでください。
- 決してご自身で器具を修理しようとししないでください。修理経験の浅い方が修理を行うと、損傷や故障につながる可能性があります。必要に応じて、最寄りの認定テクニカルサポートセンターにご連絡ください。
- 器具を長期間使用しない場合は、主電源を切ってください。
- 再輸送の際は、必ず元の梱包材を使用してください。
- LED が点灯しているときは、光を直接見ないでください。
- LED エンクロージャが取り付けられていない状態、またはハウジングが破損している状態でユニットに手を加えないでください。

取り付け：

器具は、オメガクイックリリースクランプブラケットを使用して取り付けます。動作中の振動や滑りを防ぐため、ユニットがしっかりと固定されていることを確認してください。また、ユニットを取り付ける構造物が安全で、器具重量の 10 倍の重量に耐えられることを確認してください。取り付けの際は、必ず器具重量の 12 倍の重量に耐えられる安全ケーブルを使用してください。

器具の取り付けは専門家に依頼してください。人の手の届かない場所、人が通ったり下を通ったりできない場所に設置してください。

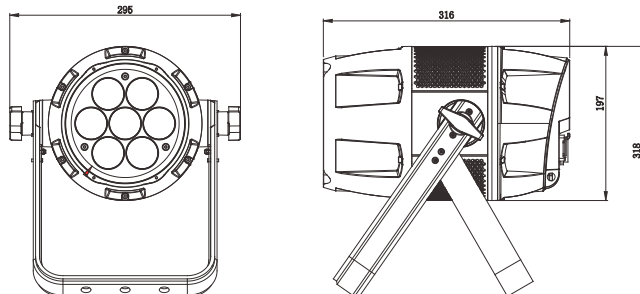
02/ 技術仕様

電源電圧：	AC 100 ～ 240V、50/60Hz
消費電力：	250W
光源：	7x40W RGBW LED
ズーム範囲：	
ビーム角：	6° ～ 40°
スポット角：	10° ～ 60°
調光 / シャッター：	0 ～ 100% のスムーズな調光優れたストロボ効果と可変速度
制御：DMX チャンネル：	5/7/9 チャンネル
制御モード：	DMX512、RDM
DMX リンクによるファームウェアアップグレード	
構造：	ディスプレイ：OLED ディスプレイ
データ入出力：	5 ピン IP XLR
電源入出力：	防水電源コネクタ入出力
保護等級：	IP66
機能：	
	内蔵プログラム選択機能
	コンソールから DMX アドレスコード、マシンリセット、音声モード変換などの機能を変更可能
	均一な RGBW カラーミキシングとレインボーエフェクト
	高度な RDM 機能
	IP66 保護等級、一年中屋外で使用可能

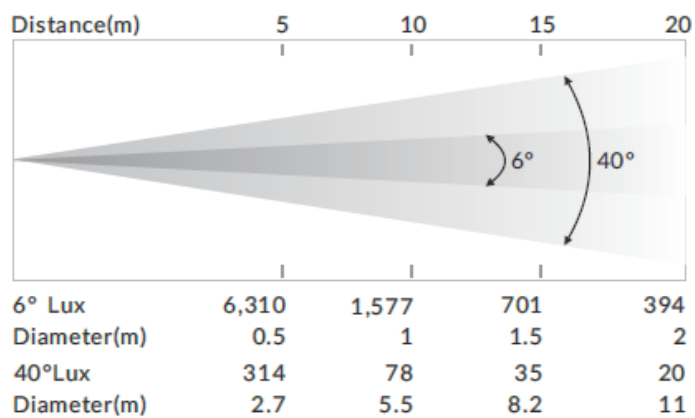
Dimensions/Weight:

295x316x318mm, 8.5kgs

11.6"x12.4"x12.5" in, 18.7lbs

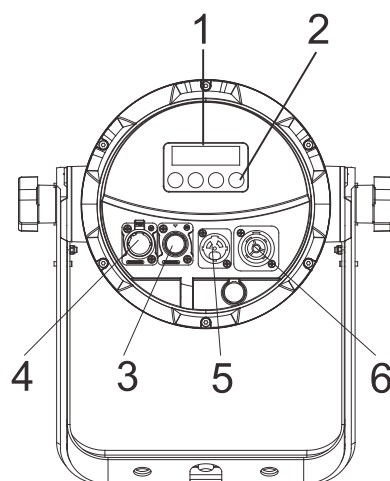


Photometrics Diagram:



03/ 器具の設定方法

3.1 コントロールパネル



1. Display: メニューと選択した機能を表示

2. Button:

MENU	メニューに入る、戻る、またはメニューを終了
DOWN	メニュー内で前に戻る
UP	メニュー内を下へ進む
ENTER	目的の機能を実行

3. DMX IN: DMX512 操作の場合は、5 ピン XLR ケーブルを使用して
DMX コントローラーを接続します。

4. DMX OUT: DMX512操作の場合は、5ピンXLRケーブルを使用して次のユニットを接続します。

5. POWER IN: 供給電源に接続

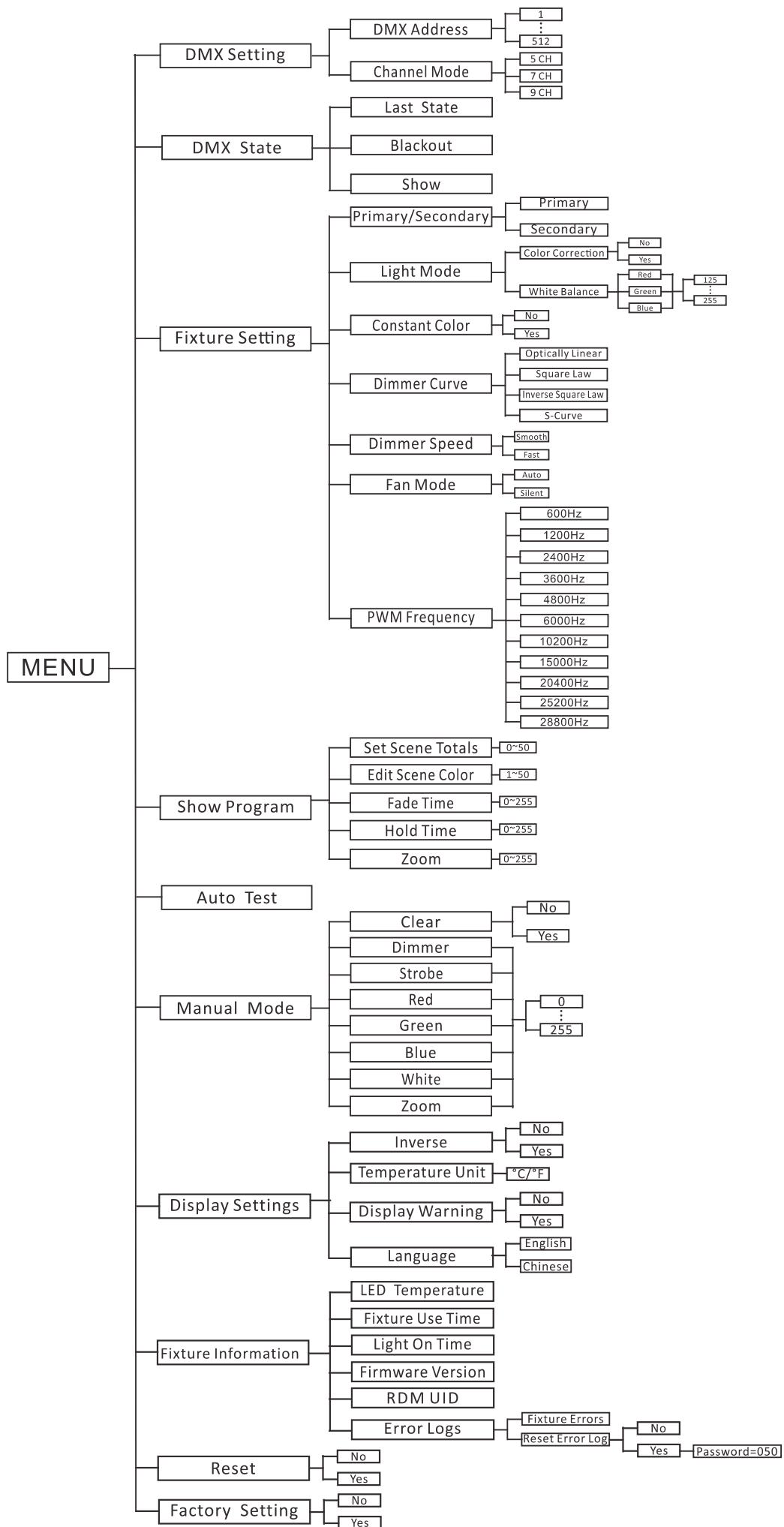
6. POWER OUT: 次の器具に接続します

3.2 コントロールパネル

体の電源を入れ、MENU ボタンを押してメニューモードに入り、UP/DOWN ボタンを押して必要な機能がモニターに表示されるまで押し続けます。ENTER ボタンで機能を選択します。UP/DOWN ボタンでサブメニューを選択し、ENTER ボタンを押すと保存され、最後のメニューに自動的に戻ります。MENU ボタンを押すか、本体を 30 秒間アイドル状態にすると、メニューモードを終了します。

長時間操作が行われない場合、画面は自動的にロックされます。MENU ボタンを長押しするとロック解除できます。

主な機能は以下の通りです。



DMX Setting

DMX Setting を選択するには、ENTER ボタンを押して確定し、UP/DOWN ボタンを使用して **DMX Address** または **Channel Mode** を選択します。

DMX Address

DMX Address を選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使ってアドレスを 001 から 512 の間で調整し、ENTER ボタンを押して保存します。

Channel Mode

Channel Mode を選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンで 5CH、7CH、または 9CH を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持するとメニューモードを終了します。

DMX State

DMX State を選択するには、ENTER ボタンを押して確定し、UP/DOWN ボタンを使用して [Last State]、[Blackou]、または [Show] を選択します。

Fixture Setting

Fixture Setting を選択するには、ENTER ボタンを押して確定し、UP/DOWN ボタンを使用して **Primary/Secondary, Light Mode, Constant Color, Dimmer Curve, Dimmer Speed, Fan Mode** or プライマリ / セカンダリ、ライト モード、一定色、調光カーブ、調光速度、ファンモード、または **PWM Frequency** PWM 周波数を選択します。

Primary/Secondary

Primary/Secondary を選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンで **Primary** または **Secondary** を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持するとメニューモードを終了します。

Light Mode

Light Mode を選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンで **Color Correction** または **White Balance** を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持するとメニューモードを終了します。

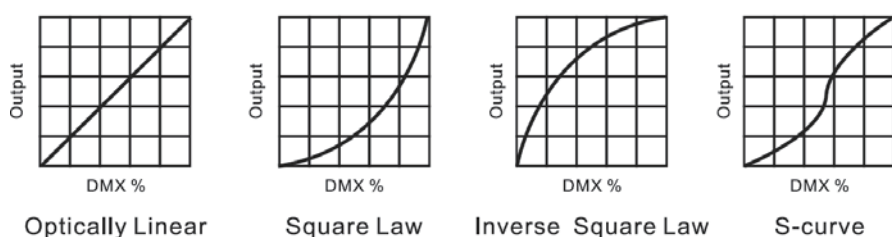
Constant Color

「コンスタントカラー」を選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンで「いいえ」または「はい」を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を保ってメニューモードを終了します。

Dimmer Curve

調光カーブを選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使って、光学直線、二乗則、逆二乗則、または S カーブを選択し、ENTER ボタンを押して確定します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、ユニットを 30 秒間アイドル状態にしてメニューモードを終了します。

Dimmer Modes



Optically Linear:DMX値の増加に伴って、光量の増加は直線的に見えます。

Square Law:光量制御は、低レベルでは細かく、高レベルでは粗くなります。

Inverse Square Law:光量制御は、低レベルでは粗く、高レベルでは指で操作します。

S-Curve：光量制御は、低レベルと高レベルでは指で操作し、中レベルでは粗くなります。

Dimmer Speed

調光速度を選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンで「スムーズ」または「高速」を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持してメニューモードを終了します。

Fan Mode

ファンモードを選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンで自動またはサイレントを選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持するとメニューモードを終了します。

PWM Frequency

PWM 周波数を選択するには、ENTER ボタンを押して確定し、UP/DOWN ボタンで 600Hz、1200Hz、2400Hz、3600Hz、4800Hz、6000Hz、10200Hz、15000Hz、20400Hz、25200Hz、または 28800Hz から選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、ユニットを 30 秒間アイドル状態にしてメニューモードを終了します。

Show Program

プログラムの表示を選択するには、ENTER ボタンを押して確定し、UP/DOWN ボタンを使用してシーン合計の設定、シーン カラーの編集、フェード時間、ホールド時間、またはズームを選択します。

Set Scene Totals

シーン合計設定を選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使って、0 ～ 50 の範囲で値を調整します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持してメニューモードを終了します。

Edit Scene Color

シーンカラー編集を選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使って、値を 1 ～ 50 の範囲で調整します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持してメニューモードを終了します。

Fade Time

フェードタイムを選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使って、0 ～ 255 の範囲で値を調整します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持してメニューモードを終了します。

Hold Time

ホールドタイムを選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使って、0 ～ 255 の範囲で値を調整します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持してメニューモードを終了します。

Zoom

ズームを選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使って、0 ～ 255 の範囲で値を調整します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持すると、メニューモードを終了できます。

Auto Test

「自動テスト」を選択し、ENTER ボタンを押して確定すると、本体に内蔵されたプログラムが実行され、自動的にテストが行われます。自動テスト終了後、MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、メニューモードを終了してください。

Manual Mode

マニュアルモードを選択し、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使って、クリア、ディマー、ストロボ、赤、緑、青、白、ズームを選択します。UP/DOWN ボタンを使って 0 ～ 255 の値を調整し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持するとメニューモードを終了します。

Display Settings

表示設定を選択し、ENTER ボタンを押して確定し、UP/DOWN ボタンを使用して反転、温度単位、表示警告、または言語を選択します。

Inverse

「反転」を選択し、ENTER ボタンを押して確定します。ディスプレイに現在のモードが点滅します。UP/DOWN ボタンを使って「いいえ」(通常表示) または「はい」(反転表示) を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持するとメニューモードを終了します。

Temperature Unit

温度単位を選択し、ENTER ボタンを押して確定します。現在のモードがディスプレイ上で点滅します。UP/DOWN ボタンで℃または°Fを選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持するとメニューモードを終了します。

Display Warning

「ディスプレイ警告」を選択し、ENTER ボタンを押して確定します。現在のモードがディスプレイ上で点滅します。UP/DOWN ボタンで「いいえ」または「はい」を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持すると、メニューモードを終了できます。

Language

言語を選択し、ENTER ボタンを押して確定します。ディスプレイに現在のモードが点滅します。UP/DOWN ボタンで英語または中国語を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持するとメニューモードを終了します。

Fixture Information

フィクスチャー情報を選択し、ENTER ボタンを押して確定し、UP/DOWN ボタンを使用して LED 温度、フィクスチャー使用時間、ライト点灯時間、ファームウェアバージョン、RDM UID、またはエラーログを選択します。

LED Temperature

LED 温度を選択し、ENTER ボタンを押して確定すると、ディスプレイに LED 温度が表示されます。MENU ボタンを押して終了します。

Fixture Use Time

器具使用時間を選択し、ENTER ボタンを押して確定すると、器具使用時間がディスプレイに表示されます。MENU ボタンを押して終了します。

Light On Time

ライトの点灯時間を選択し、ENTER ボタンを押して確定すると、ディスプレイにライトの点灯時間が表示されます。MENU ボタンを押して終了します。

Firmware Version

ファームウェアバージョンを選択し、ENTER ボタンを押して確定すると、ファームウェアバージョンがディスプレイに表示されます。MENU ボタンを押して終了します。

RDM UID

RDM UID を選択し、ENTER ボタンを押して確定すると、RDM UID がディスプレイに表示されます。MENU ボタンを押して終了します。

Error Logs

エラーログを選択するには、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して「Fixture Errors」または「Reset Error Log」を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。「Reset Error Log」を選択するには、ENTER ボタンを押して確定し、UP/DOWN ボタンを使用して「No」または「Yes」を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。「Yes」を選択するには、ENTER ボタンを押して確定し、UP/DOWN ボタンを使用してパスワード「050」を設定し、ENTER ボタンを押してエラーログをリセットします。MENU ボタンを押して最後のメニューに戻るか、ユニットを 30 秒間アイドル状態にしてメニューモードを終了します。

Reset

「リセット」を選択し、ENTER ボタンを押して確定します。ディスプレイに現在のモードが点滅します。UP/DOWN ボタンで「いいえ」または「はい」を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持すると、メニューモードを終了できます。

Factory Setting

工場出荷時設定を選択し、ENTER ボタンを押して確定します。現在のモードがディスプレイ上で点滅します。UP/DOWN ボタンで「いいえ」または「はい」を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、30 秒間アイドル状態を維持するとメニューモードを終了できます。

RDM FUNCTIONS

MANUFACTURER（製造元）メニューを選択すると、フィクスチャーの製造元が表示されます。

SOFTWARE VERSION（ソフトウェアバージョン）メニューを選択すると、フィクスチャーのプログラムバージョン番号が表示されます。

DMX START ADDRESS（DMX 開始アドレス）メニューを選択すると、DMX 512 アドレス（001 ～ 512）を変更できます。

DEVICE MODEL DESCRIPT（デバイスモデル説明）メニューを選択すると、フィクスチャーのモデルが表示されます。

DEVICE LABEL（デバイスラベル）メニューを選択すると、フィクスチャーのモデルを変更できます。

DMX PERSONALITY（DMX パーソナリティ）メニューを選択すると、フィクスチャーのチャンネルモード（5/7/9 チャンネル）を設定できます。

DMX PERSONALITY DESCRIPT（DMX パーソナリティ説明）メニューを選択すると、フィクスチャーの現在のチャンネルモードが表示されます。

DEVICE HOURS（デバイス時間）メニューを選択すると、フィクスチャーの稼働時間が表示されます。

RESET DEVICE（デバイスリセット）メニューを選択すると、WARM RESET/COLD RESET（ウォームリセット / コールドリセット）オプションが表示されます。WARM RESET（ウォームリセット）を選択すると、フィクスチャーはウォームリセットを開始し、COLD RESET（コールドリセット）を選択すると終了します。

04/ ユニットの制御方法

本機は 2 つの方法で操作できます。

1. 内蔵のプライマリ / セカンダリプリプログラム機能を使用する
2. DMX コントローラーを使用する

4.1 DMX512コントローラー

ユニバーサル DMX コントローラーを使用してユニットを制御する場合、ユニットが DMX 信号を受信できるように、DMX アドレスを 1 ～ 512 の範囲で設定する必要があります。

MENU ボタンを押してメニューモードに入り、「DMX 設定」を選択して ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して DMX アドレスを選択し、ENTER ボタンを押して確定します。現在のアドレスが点滅表示され、UP/DOWN ボタンを使用してアドレスを 001 ～ 512 の範囲で調整し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか、ユニットを 30 秒間アイドル状態にしてメニューモードを終了します。

最初の 4 台のユニットの DMX512 チャンネルのアドレス設定については、次の図を参照してください。

Channel mode	Unit 1 Address	Unit 2 Address	Unit 3 Address	Unit 4 Address
5 channels	1	6	11	16
7 channels	1	8	15	22
9 channels	1	10	19	28

4.2 DMX512設定

照明器具を制御するには、以下の設定を参照してください。

注意：

1. DMX 信号を切断すると、リセットされるまでユニットは直前の状態を維持します。
2. チャンネル機能については、値を約 3 秒間保持すると、対応する機能が有効になります。

5 チャンネルモード：

CHANNEL	VALUE	FUNCTION
1	000-255	RED 0%→100%
2	000-255	GREEN 0%→100%
3	000-255	BLUE 0%→100%

4	000-255	WHITE 0%→100%
5	000-255	ZOOM 40°→6°

7 チャンネルモード：

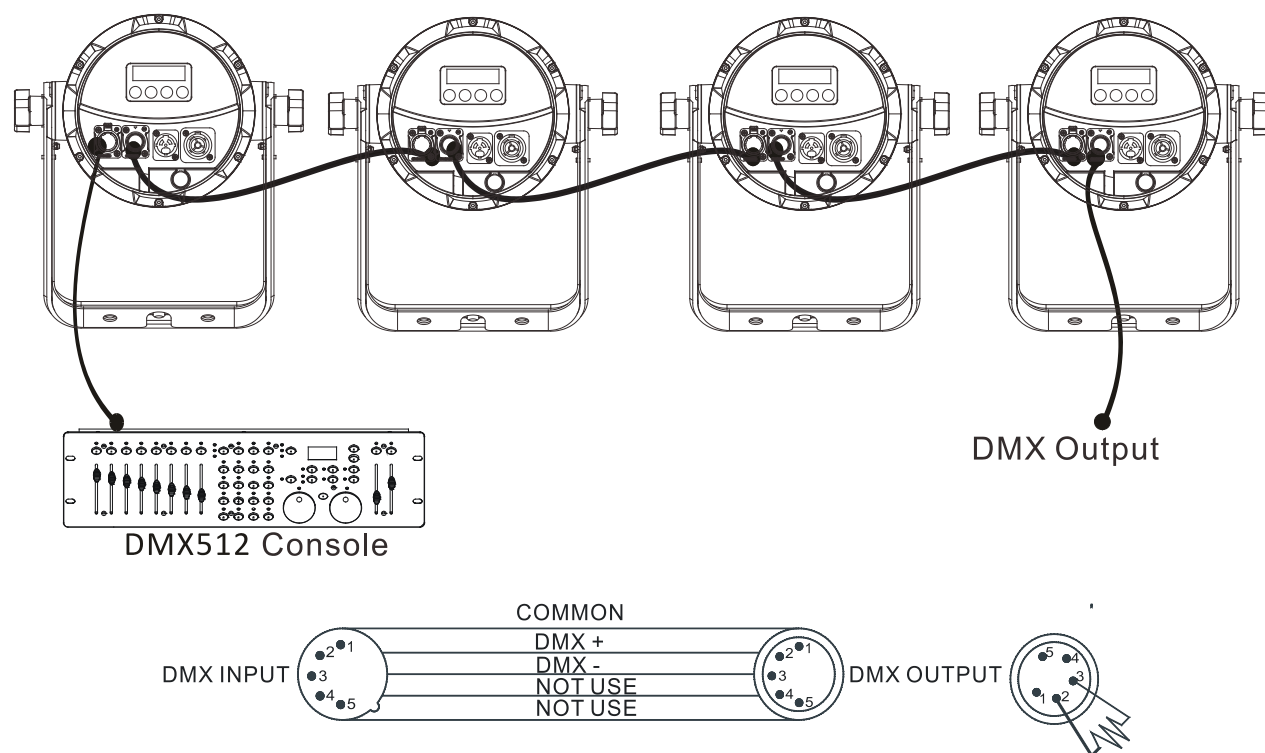
CHANNEL	VALUE	FUNCTION
1	000-255	RED 0%→100%
2	000-255	GREEN 0%→100%
3	000-255	BLUE 0%→100%
4	000-255	WHITE 0%→100%
5	000-255	DIMMER 0%→100%
6	000-014 015-042 043-070 071-078 079-106 107-114 115-142 143-150 151-178 179-186 187-214 215-222 223-250 251-255	STROBE Open Strobe from fast to slow Pulse from fast to slow Random Strobe Burst from fast to slow Random burst Burst pulse from fast to slow Random burst pulse Slow open Fast close Random slow open fast close Fast open Slow close Random fast open slow close Slow open slow close Open
7	000-255	ZOOM 40°→6°

9 チャンネルモード:

CHANNEL	VALUE	FUNCTION
1	000-255	RED 0%→100%
2	000-255	GREEN 0%→100%
3	000-255	BLUE 0%→100%
4	000-255	WHITE 0%→100%
5	000-255	DIMMER 0%→100%
6	000-255	DIMMER FINE
7	000-014 015-042 043-070 071-078 079-106 107-114 115-142 143-150 151-178 179-186 187-214 215-222 223-250 251-255	STROBE Open Strobe from fast to slow Pulse from fast to slow Random Strobe Burst from fast to slow Random burst Burst pulse from fast to slow Random burst pulse Slow open Fast close Random slow open fast close Fast open Slow close Random fast open slow close Slow open slow close Open
8	000-255	ZOOM 40°→6°
9	000-009 010-014 015-019 020-024 025-029 030-034 035-039 040-044 045-049 050-054 055-059	Macro Color For All LED Open (RGBW color mixing enabled) LEE 790 – Moroccan pink LEE 157 – Pink LEE 332 – Special rose pink LEE 328 – Follies pink LEE 345 – Fuchsia pink LEE 194 – Surprise pink LEE 181 – Congo Blue LEE 071 – Tokyo Blue LEE 120 – Deep Blue LEE 079 – Just Blue

060-064	LEE 132 – Medium Blue
065-069	LEE 200 – Double CT Blue
070-074	LEE 161 – Slate Blue
075-079	LEE 201 – Full CT Blue
080-084	LEE 202 – Half CT Blue
085-089	LEE 117 – Steel Blue
090-094	LEE 353 – Lighter Blue
095-099	LEE 118 – Light Blue
100-104	LEE 116 – Medium Blue Green
105-109	LEE 124 – Dark Green
110-114	LEE 139 – Primary Green
115-119	LEE 089 – Moss Green
120-124	LEE 122 – Fem Green
125-129	LEE 738 – JAS Green
130-134	LEE 088 – Lime Green
135-139	LEE 100 – Spring Yellow
140-144	LEE 104 – Deep Amber
145-149	LEE 179 – Chrome Orange
150-154	LEE 105 – Orange
155-159	LEE 021 – Gold Amber
160-164	LEE 778 – Millennium Gold
165-169	LEE 135 – Deep Golden Amber
170-173	LEE 164 – Flame Red
174-179	White 3200K
180-201	White 4000K
202-207	White 6000K
208-229	White 8000K
230-234	White 10000K
235-239	Random Color – Fast
240-244	Random Color – Medium speed
245-249	Random Color – Slow
250-255	Open

4.3 DMX512接続



- 1.最後のユニットでは、DMX ケーブルをターミネータで終端する必要があります。3 ピン XLR プラグのピン 2 (DMX-) とピン 3 (DMX+) の間に 120Ω 1/4W 抵抗をはんだ付けし、最後のユニットの DMX 出力に接続します。
- 2.ユニットの出力から次のユニットの入力まで、XLR プラグケーブルを使用してユニットを「デージーチェーン」接続します。ケーブルを Y 字型に分岐または分割することはできません。DMX 512 は非常に高速な信号です。不適切なケーブルや損傷したケーブル、はんだ付けされた接合部、腐食したコネクタは、信号を容易に歪ませ、システムをシャットダウンさせる可能性があります。
- 3.DMX 出力および入力コネクタは、ユニットの 1 つの電源が切断された場合でも DMX 回路を維持するためにパススルーされます。
- 4.各照明ユニットには、コントローラーからデータを受信するための DMX アドレスが必要です。アドレス番号は 1 ～ 512 です。
- 5.DMX 512 システムの終端は、信号エラーを低減するために終端する必要があります。
- 6.3 ピン XLR コネクタは 5 ピン XLR よりも一般的です。
 - 3 ピン XLR：ピン 1：GND、ピン 2：負信号 (-)、ピン 3：正信号 (+)
 - 5 ピン XLR：ピン 1：GND、ピン 2：負信号 (-)、ピン 3：正信号 (+)、ピン 4 とピン 5 は未使用。

05/ トラブルシューティング

操作中に発生する可能性のある一般的な問題を以下に示します。簡単なトラブルシューティングのヒントをいくつかご紹介します。

A. 本体が動作せず、ランプも点灯せず、ファンも動作しない

1. 電源コネクタを確認してください。
2. メインコネクタの主電源電圧を測定してください。
3. 電源 LED が点灯するかどうかを確認してください。

B. DMX コントローラーに応答しない

1. DMX コネクタとケーブルが正しく接続されているか確認してください。
2. アドレス設定と DMX 極性を確認してください。
3. DMX 信号に断続的な問題がある場合は、本体または以前のユニットのコネクタまたは PCB のピンを確認してください。
4. 別の DMX コントローラーを使用してみてください。
5. DMX ケーブルが、DMX インターフェース回路に損傷や干渉を与える可能性のある高電圧ケーブルの近くまたは並走していないか確認してください。

C. チャンネルの 1 つが正常に動作していません

1. ステッピングモーターが損傷しているか、PCB に接続されたケーブルが断線している可能性があります。
2. PCB 上のモーターの駆動 IC が故障している可能性があります。

06/ 器具のクリーニング

光出力を最適化するために、内部および外部の光学レンズやミラーのクリーニングは定期的に行う必要があります。クリーニングの頻度は、器具の使用環境によって異なります。湿気、煙、または非常に汚れた環境は、ユニットの光学部品に汚れが蓄積しやすくなります。

- ・ 柔らかい布で拭き、通常のガラス用洗浄液を使用してください。
- ・ 部品は必ず丁寧に乾燥させてください。
- ・ 外部光学系は少なくとも 20 日に 1 回クリーニングしてください。

Declaration of Conformity

We declare that our products (lighting equipments) comply with the following specification and bears CE mark in accordance with the provision of the Electromagnetic Compatibility (EMC) Directive 2014/30/EU.

EN 55032: 2015; EN 61000-3-2: 2014;
EN 61000-3-3: 2013; EN 55103-2: 2009.

&

Harmonized Standard

EN 60598-2-17: 1989+A2: 1991; EN 60598-1: 2015

Safety of household and similar electrical appliances
Part 1: General requirements

Innovation, Quality, Performance